

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 2 月 24 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部経営学科
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 2 月 10 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	フランス
留学先大学	ヴェルサイユ大学 (日本語名) Université de Versailles Saint-Quentin-en-Yvelines(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語、フランス語/ 英語、フランス語
留学期間	2024 年 9 月～2025 年 2 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☒ 国立 ☐ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月中旬～1 月上旬 2 学期: 1 月下旬～6 月上旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約 20000 人
創立年	1991 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	2150	348000 円	430€/月
食費	2000	320000 円	外食費を含む
図書費	0	0 円	
学用品費	0	0 円	
携帯・インターネット費	120	19400 円	6 ヶ月分
現地交通費	392	62000 円	一年間乗り放題 (☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費	350	56000 円	形態:学校指定のもの
渡航旅費	1000	160000 円	
ビザ申請費	200	33000 円	現地到着後、別途 50€を含む
雑費	0	0 円	
その他	80	13200 円	電気代(自分の寮費には電気代は含まれていませんでした)
その他	0	0 円	
合計	6292	1011600 円	留学中の旅行や遊びのお金は含んでいません。含めると+ 25 万ぐらいです。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:羽田空港 目的地:シャルル・ド・ゴール 経由地:上海空港

復路 出発地:シャルル・ド・ゴール 目的地:羽田空港 経由地:

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社:中国東方空港 料金:80000

復路 航空会社:エールフランス 料金:0(マイル利用のため) ∴合計:80000

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名:)☒ インターネット(サイト名:Trip.com とエールフランス公式)☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

☒ 学生寮(寮の名前:Residence Vauban) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☐ バス ☐ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

留学先の大学からの斡旋です

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学から提案された寮は 5 つありましたが、寮によってかなり差があると思います。私の場合は運良く、大学のすぐそばで、設備もある程度整っている寮でしたが、他の寮は大学から遠いところや、設備不良の場所もあるみたいなので、おすすめの寮は Vauban(学校のすぐ近く)か Viroflay(パリにも近く、設備が綺麗)です。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☐ なし

☒ あり (問題の内容や相談した人等: 大学の国際事務室、現地の友人)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

私は犯罪や問題などに巻き込まれることなく過ごせましたが、あまり夜は一人で出歩かなかったり、電車の中ではスリに気をつけたりしてました。あとは現地の友人が教えてくれました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

日本にいた時と変わりなくインターネットを利用できました。しかし、地下鉄などは電波が悪かったと思います。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

買い物のほとんどの場合クレジットカードを使ったので、現地の銀行口座などは開設していません。ただ、家賃補助の申請をする場合は現地の口座が必要です。LCL のピラミッド支店に日本語で対応してくれる方がいると言っていました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

大体のものは現地で調達できます。K-mart というアジアスーパーがあるので、そこで日本食も買うことができます。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。	
未定 単位	☒ 2 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)		
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限			
☐ 出発前 ☒ 出発後 ☒ 派遣先大学の事務室 ☐ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:			
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。			
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
introduction to international relations		国際関係論入門	
科目設置学部・研究科	IECI		
履修期間	4 ヶ月		
単位数	3 ECTS		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 150 分が 1 回		
担当教授	Sophie Croisy(TD), Alexandra Boudet-Brugal(CM,TD)		
授業内容	国際情勢や国際組織誕生の歴史を 1 から振り返る授業。		
試験・課題等	小テスト 2 回、グループプレゼンテーション 1 回、期末テスト		
感想を自由記入	この授業は CM(講義形式)と TD(少人数クラス)の二つに分けられていました。基本的に事前に教科書を予習しておかないと厳しく、また、ある程度の世界史の知識が前提として求められていると思います。テストの範囲もとても広く難しかったですが、内容自体は非常に興味深く、深く考えさせられるものでした。これからの世界情勢今までにない多様な視点から俯瞰し、考えることにつながると感じました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
introduction to American cinema		アメリカ映画入門
科目設置学部・研究科	Languages	
履修期間	4 ヶ月	
単位数	3ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Lauric Henneon	
授業内容	アメリカの映画の歴史について	
試験・課題等	期末テスト	
感想を自由記入	この授業は他の授業に比べて比較的簡単でした。内容も面白く、小さい頃から馴染みのある映画なども見ながら、アメリカ映画がどのようにして今の映画になったのかを辿る授業でした。期末テストは映画の専門用語問題が難しかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
communication and international negotiation(written)		コミュニケーション及び国際交渉(筆記)
科目設置学部・研究科	Economics	
履修期間	4 ヶ月	
単位数	3ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Augustyniak Virginie	
授業内容	毎回先生が時事問題などについての記事を持ってくるので、それを読み設問を答えて、文法や語彙確認などをする。たまに全体でディスカッションをする	
試験・課題等	個人プレゼン、期末テスト	
感想を自由記入	英文の読解力が上がったと思います。先生が持ってくる記事の内容もとても面白く、また、個人プレゼンに関しては自分で記事を見つけ、それについてプレゼンするものでしたが、そんなに難しくもなく、他の生徒の中にはとてもプレゼンが上手い人もいたので、とても勉強になりました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
FLE Grammer		留学生向けフランス語	
科目設置学部・研究科			
履修期間		4 ヶ月	
単位数		3ECTS	
本学での単位認定状況		単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態		少人数講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数		1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授		Guehr lawajih	
授業内容		フランス語の基礎を学ぶ	
試験・課題等		プレゼンテーション 1 回、期末テスト	
感想を自由記入		まず、フランス語のテストお受けて、点数によってクラス分けがされました。この授業はフランス語の基礎を学ぶ授業と聞いていたが、内容はとても難しかった。教授はほとんどフランス語しか話さないの、用語の説明をされても全く理解できなかった。ある程度フランス語を話せないとこの授業は難しいと思った。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
histoire de l'art		美術史
科目設置学部・研究科		
履修期間	3 ヶ月	
単位数	3ECTS	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	zoom 形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回	
担当教授	Yann Datessen	
授業内容	フランスの芸術、美術の歴史や有名な作品について学ぶ。最後の授業はルーヴル美術館の鑑賞だった。	
試験・課題等	レポート 1 回	
感想を自由記入	この授業は全てフランス語で行われるので、フランス語ができないと難しい授業だった。しかし、フランスの美術の歴史について興味があったので、とって良かったと思います。レポートは 500 文字程度でした。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☐未定 ☒その他:休学

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

私は元々一年休学して、その際に就職活動を本格的にするつもりだったので、あまり就活を行なってはいなかったのですが、ある程度の情報収集はしておいた方がいいと思います。最近は就活が早期化してるので、1 月末までに ES 締め切りの企業が多くなっていると思います。とは言っても、勤めたい企業や業界を絞るのは最初は難しいと思うので、せめて自分が将来したいことは何なのか、それを実現するために自分に必要なものは何なのかを深く考えると自然と見えてくると思います。

私の場合は勤めたいと思った企業が一社だけあったので、留学前にその企業だけサマーインターンに申し込んで、インターンをしてから留学に行きました。その企業はインターン直結で内定が出る企業だったので、そのまま冬インターンに進んで、zoom で参加してました。結果的に年内に内定を頂けたのですが、留学中に自分と見つめ合う時間が増え、将来やりたいことをよく考えた結果考え方が変わったので、その企業は辞退することになりました。

特に三年生の時に留学する人は、就活について心配することが多いと思いますが、留学前にしっかりと準備してをけば、問題なく就活も両立している人もいますし、休学して就活を行う人もいるので、自分に合うやり方で就活に取り組んだらいいと思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

私は、このフランス留学する年は留学だけに専念したいと思っていたのと、他の国にも留学に行きたいと思っていたので、休学することになりました。留学する前は 4 年間で卒業するのが当たり前だと思っていたし、周りもそういう人だったので、最初は休学することに対して、ネックな印象を持っていましたが、留学を通してやりたい事が見つかったし、周りと同じじゃなくても、自分のペースでやれば良いということを留学先の友達に教えてもらったので、休学を決意しました。進路について悩む人も多いと思いますが、自分が後悔しないような選択をしてください。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	留学決意
	8 月 ～ 9 月	TOEFL の勉強
	10 月 ～ 12 月	TOEFL 受験、出願、選考、
留学開始年	1 月 ～ 3 月	期末勉強
	4 月 ～ 7 月	ビザ申請、航空券購入、滞在先確保、社会保険の加入
	8 月 ～ 9 月	ビザ取得、出国
	10 月 ～ 12 月	授業(定期試験、プレゼン)
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	期末試験、帰国
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私は元々ヨーロッパに行くのが夢で、かつフランスの文化に興味を持っていたので留学先をフランスに選びました。留学生活では、最初は言語や生活習慣の違いに戸惑うこともありましたが、しかし、積極的に現地の人と交流し、自分から行動することで、少しずつ適応できるようになりました。大学の授業は日本と異なり、学生の自主性が求められるため、予習や復習を徹底することが大切です。また、フランスでは意見をはっきり伝える文化があるため、自分の考えを言葉にする力も鍛えられました。今、留学をしようか迷っているならば、私は絶対にすべきだと思います。最初は不安や困難が沢山あると思いますが、それ以上の経験と感動、留学をした価値を得られると思います。また、留学を成功させるためには、事前準備が重要です。語学力をできるだけ高めておくこと、現地の文化や制度を調べることで、そして何より、新しい環境に飛び込む勇気を持つことです。留学は大きな挑戦ですが、それ以上に得られるものは計り知れません。ぜひ、自分の目標を明確にし、充実した留学生活を送ってください。応援しています！